

今後の取り組み予定

令和 6 年度の事業評価では、坂出市地域公共交通計画、坂出市地域公共交通利便増進実施計画に基づく取り組みにより、利便性向上や利用促進による利用者数の増加、路線再編やゾーン制運賃による運行の効率化と収支率の向上、国庫補助の積極的活用による市補助額の減少など、持続可能な公共交通に資する効果が確認された。一方で、取り組みの効果をさらに高めるためには、「カタチ」づくり、「シクミ」づくりに加えて、「ココロ」づくりについても推進していく必要性が確認された。

事業評価結果をもとに、「ココロ」づくりを推進するモビリティマネジメントに取り組んでいくとともに、依然として厳しい状況にある乗務員不足の状況においても、将来の持続可能な公共交通を実現するために、自動運転バスの実証運行を計画している。

（１）モビリティマネジメント関係

○利便増進計画推進事業

①タブロイド紙作成

- ・公共交通利用者や運転手にフォーカスをあてるなど、見た人の関心を惹き、公共交通利用への行動変容を促すもの

②効果検証資料作成

- ・地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画に基づく各種取り組み実績や、その取り組みによる相乗効果をまとめた資料を作成し、取り組みへの認知度向上や効果促進を図るもの

○中高生サマーパス

- ・昨年度に引き続き、夏休み期間の中高生をターゲットとした利用促進として、TicketQR アプリによる格安乗り放題定期券を実施

○香川県地域活力地域活力向上のための市町等総合交付金を活用した事業

①坂出自動車学校の高齢社会講習との共創

- ・自動車運転免許を更新できる高齢者を対象に、将来の免許返納に備えて、元気なうちから公共交通に乗り慣れておくことを啓発

②市職員やB to C 事業者向け研修

- ・地域公共交通の概要や、経路・時刻検索等の便利なツールの活用方法を研修し、市民や店舗施設等利用者に対して公共交通利用案内ができる人材を育成

③市民向けワークショップ

- ・「TicketQR で公共交通無料デー」のコラボイベント等においてワークショップを実施し、公共交通利用を促す。

（２）自動運転バスの実証運行

○背景

- ・高齢社会において地域で公共交通の果たす役割が重要となっている一方で、乗務員不足により、昨年度は坂出エリアでも大幅な減便が発生するなど、路線バスサービスの維持が困難な状況となっている。
- ・そのような状況において、レベル４自動運転による路線運行を目指して、地域の生活移動手段を確保する必要がある。

○今年度の実施予定

- ・国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）の採択を受けて、坂出市を代表団体に、坂出自動車学校とのコンソーシアム、琴参バス等の協力により実施
- ・今年度は自動運転レベル２による３週間程度の無償の実証運行により、データ収集や、市民の受容性向上を図り、将来的には自動運転レベル４による路線バス運行を目指す。
- ・運行ルートは、坂出駅からマルナカ坂出店周辺までのルートを計画して調整中



（３）運行経路の変更

- ・議題(1)で報告の坂出駅バスロータリーの整備に伴い、運行経路の変更が見込まれている。